

支援の手だてリスト(具体例)

		⑦ ひらがなを見つけよう	
		注意を持続し、提示された視覚的な情報の中から、必要とされる情報を選択する力	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
3	学習のルール	8) ・合図や質問の仕方を決めておく 9) ・話すとき・聞くときのルールを教室内に掲示する ・発言の仕方を教室内に掲示する ・話をしている人を見るようにさせる ・人の話を最後まで聞くようにさせる ・聞くときの合図を決めておく ・質問や意見の際の手の挙げ方(グー, チョキ)を決めておく 10) ・休み時間に次の授業の準備をさせる 11) ・学習の流れを一覧にし、今、どこを習っているかを矢印で示す	8) ・注目させる合図(サイン)を決めておく ・聞き方の「あいうえお」を合言葉にする (あ)相手を見て (い)一生懸命 (う)うなずいて (え)笑顔で (お)終わりまで 9) ・聞く姿勢、話す姿勢の絵や写真を提示する 11) ・「何をどこまで取り組んだら終わり」、「あと〇題、あと〇分」などゴールを伝える ・授業の流れ図や、タイムタイマーで終わりの時間を視覚的に提示する
4	指示の出し方	12) ・注目させる場所、人、物を指さしや図などを使って明確に示す ・注目させる言葉を決めて、提示する ・追加の指示は出さない 13) ・抽象語を少なくし、具体的な短い指示を出す ・1回の指示では、一つの動作のみ指示する ・声の大きさ、抑揚、速さに気を付ける ・指示代名詞はできるだけ使わない ・「要点を三つ話をします」のように聞きやすい工夫をする 14) ・黒板に指示を書いたり、文字カードを準備して提示する ・視覚的な図表、写真などを提示してイメージを持たせる 15) ・授業の途中で、何度か課題の達成率を確認する 16) ・机間支援をしながら、どこまで取り組んでいるかを確認して、必要な指示を出す ・頑張っていることを見付け、褒める	12) ・教師が手をたたくなどして、注目させる ・追加の指示を出す場合には、作業や活動を止めてから指示を出す 13) ・全体に出す指示と個別に出す指示を区別して伝える ・聞き誤りや聞き逃しの多い児童生徒の場合は、そばに行き注目させてから指示を出す